

調査事項① | 新丸山ダム建設事業について

調査内容

新丸山ダム建設事業の推進については、当町議会も早期完成を要望していることから現地視察を行い、建設工事の進捗状況について調査を行った。

意見・要望

新丸山ダム建設工事については、計画に沿って順調に進捗していることが確認できた。また、周辺付替道路の整備などの関連事業により地域が活性化されつつあることも確認した。

新丸山ダム建設事業は、洪水時における下流域の治水安全度を飛躍的に向上させるとともに、渇水時における流水の安定や河川環境の保全等に効果を発揮し、安全で安心なまちづくりに寄与するものであることから、町議会は国に早期の完成に向けて強力に事業を推進するよう引き続き要望していくものとする。



◀ 新丸山ダム建設工事の進捗状況の説明を受ける様子

▼ 現在の丸山ダム



調査事項② | かわまちづくり事業について

調査内容

かわまちづくり事業について、可児市の先進事例を視察し、その後、坂祝町の同事業の進捗状況と今後の予定について調査を行った。

意見・要望

1. 可児市地元住民の活動が可児市かわまちづくり事業に発展し、荒廃した竹林を再生して遊歩道が整備された先進事例は非常に参考になったが、同じく坂祝町のかわまちづくり事業を成功させるためには住民参画が必要不可欠であり、今後事業を大きく展開させていくためにも町民を巻き込む仕掛けをつくり、実践していただきたい。

意見・要望

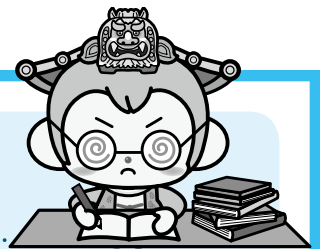
2. 坂祝町かわまちづくり基本計画の中には文化財保護法の制限等により見直しが必要な内容もあるとの報告を受けた。できるだけ早期に具体的な実施計画を策定し、町民に見える形で公表していただきたい。変更された計画に沿って、役割分担を明確化し適切に資源の投入を行うことで、より一層事業の推進が図られることを期待する。



◀可児市「木曾川左岸遊歩道友の会」が整備した「木曾川渡し場遊歩道」(美しい竹林が広がるかぐや姫の散歩道)を視察する様子

活動報告

議員勉強会を開催しました



11月15日(月)に、より良い議会を目指すため、議員勉強会を開催しました。

今回は「議会の質疑及び質問について」をテーマとして、会議のルールを再確認し、その後、各議員が疑問点を出し合い、互いに教え合いました。

知識と経験を共有することで議員の資質向上に努めました。

「議員必携」を確認し合う議員▶



編集後記

議会だよりに携わり、冊子を作る際に、正確に思いを伝えることの難しさを実感しています。文字一つ一つの大切さ、議員の質問、行政の答弁等、その人が考える思考により近づくよう編集を心がけています。今回は読者の皆様に読みやすいよう、行間を開けるなどレイアウトを変えてみました。今年も議員一同頑張って参ります。

広報編集委員会

委員長	小島 利成
副委員長	河村 利道
委員	林 重光
委員	伊藤 敬宏